



POLICE Information

夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止

■夏休み中の少年非行・家出を防止しましょう！

夏休みに入ると、開放感や気の緩みから非行に走ったり、強制わいせつなどの性犯罪や児童買春などの被害に遭うケースが目立ってきます。

毎日の生活の中で言葉遣いや生活態度に変化がないか注意深く観察して、子どもを非行に走らせないようにしましょう。

■インターネット利用による犯罪被害が後を絶ちません

インターネット上には子どもに有害な情報があふれており、子どもが興味本位からコミュニティサイトなどにアクセスしたり、無料通話アプリを使って見知らぬ人と知り合い様々な犯罪の被害に遭うことが懸念されます。

家族で十分話し合って、インターネット利用のルールを作りましょう。

犯罪被害に遭わないための3つのポイント

① 会わない！

サイトで知り合った相手に会うと、重大な犯罪に巻き込まれる可能性がますます大きくなります！

② 書き込まない！

サイトに出会いを求める書き込みはしない。また、怪しいメールが届いても絶対に開かない！

③ 掲載しない！

個人情報がかかるような書き込みや、写真を一度でも掲載すると、その情報や写真を悪用される恐れがあります。

ひとりで悩むの、もうやめよう!!

肥後っ子テレホン

サ-ハヨ-ヨクナロ-

TEL・FAX

096-384-4976

オ-ニッコリヨクナロ-

フリーダイヤル

0120-024976

相談用メールアドレス higokko@police.pref.kumamoto.jp

〈問い合わせ〉 高森警察署 TEL(62)0110

なんでも

南部分署

熱中症に注意しましょう！

熊本地震により被害を受けた場所での復旧・復興活動が続いていますが、これから本格的な夏の暑さがやってきます。夏の暑さにバテ気味となるそんな季節に注意してほしいのが熱中症です。熱中症は屋内外を問わずに高温多湿が原因となって起こります。毎年多くの患者が搬送されますが、そのうちの約半数は高齢者が占めており、最悪死にも至る危険な症状です。そこで次の4つのポイントで熱中症を防ぎましょう。

熱中症を防ぐポイント

1. 屋内外問わず作業、運動を行う場合は適度な水分・塩分を補給する。
2. 暑さを感じなくても無理な節電はせず扇風機やエアコンを使って温度調整をする。
3. 疲労がたまっている時は、無理をしない。
4. 熊本地震により被害を受けた現場での復旧・復興の作業を行う際は適度な休憩をとる。

熱中症の症状

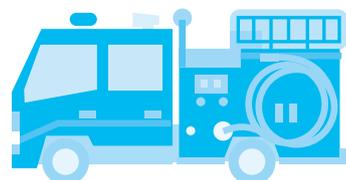
1. めまい、こむら返り、手足のしびれ。
2. 頭痛、吐き気、虚脱感。
3. 意識障害、けいれんなど。

熱中症になったときの処置

1. 涼しい場所に避難させる。
 2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす。
 3. 水分・塩分を補給する。(スポーツドリンクがおすすめ)
- ※熱中症の症状が現れたら直ちに救急要請しましょう。

熊本地震によりまだまだ復旧・復興作業が続いていますが、作業を行う際は、適度な休憩と水分をとり熱中症に注意しましょう。

がんばろう
熊本!



〈お問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL(62)9034 火事・救急 119